



**新しい学生服を買ってもらった A くんは、始業式の日から、登校を始めました！**  
**心を安定させ、4月からの安定した登校に繋いでいくには・・・**

約6ヶ月、不登校だった中学生 A くんは、お父さんやお母さんの支援やサポートもあり、  
「4月からは、学校へ行ってみようかな」  
「そろそろ、勉強もせんといかんなあ・・・」  
「〇〇や□□（友だち）は、どうしてるかな」などと、家族に、話し始めていたようです。

3月のある日、A 君のお母さんから、・・・  
「**学生服が小さくなっていたんですが、新しいのを買った方がいいでしょうか？**」  
・・・と、相談を受けました。  
私は、躊躇することなく「**すぐにでも、買ってあげてください！**」と応えました。

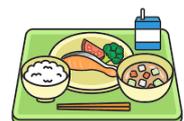


## 何と！

新しい学生服を買ってもらった A くんは、**始業式の日から、登校を始めました。**  
一体、A 君に、どのような心境の変化があったのでしょうか。

### ◆「条件付きの対応」は、子どもの心を不安定にします！

新学期に向けて、  
新しい学習教材の購入、学校給食の手続き、修学旅行の準備などがありますが、  
そのような場面で、例えば、・・・



「**学校に行くなら、新しい学生服を買ってあげる**」  
のような「**条件付き対応**」をしていると、子どもの心が不安定になるので、注意が必要です。

なぜかと言いますと、そのような話し方は、裏を返すと、・・・  
「**学校に行かないなら、新しい学生服は買いません**」とか、  
「**学校に行かないなら、あなたの言うことは聞きません**」とか、  
「**学校に行かないなら、あなたを大事にしません**」  
・・・といった意味で、子どもに伝わっていくからです。

子どもの心を安定させ、安定した登校に繋いでいくには、「**無条件の対応**」が大切です。

無条件で、新しい体操服を買ってあげることで、・・・

「学校に行けるようになって、いいね」とか、

「学校に行ける行けないことより、あなたのことの方が大事です」とか、

「あなたのことが、大好きです」・・・といったメッセージが子どもに伝わっていきます。

だから、子どもは、前へ進んでみようという気持ちになれます。

#### ◆子どもの心を安定させ、4月からの安定した登校に繋いでいくには、・・・

子どもの心を安定させ、4月からの安定した登校に繋いでいくには、・・・

この3~4月、親は、子どもと、どのように関わっていくとよいでしょう。

実際によくお伺いする事例を通して考えてみましょう。

「適切な対応」となるのは、A~Cのうち、どれだと思いますか。

**事例1** 欠席するときは、学校に連絡をすることになっているので、子どもに聞きます。

親は、どのような聞き方をするとよいですか。 (**重要**)

A 「今日は、学校に行くの？行かないの？」

B 「今日は、学校は、どうするの？」

C 「今日は、学校は、どうしたいの？」

\*3つの聞き方はよく似ていますが、意味は全く異なります。

**事例2** 4月からの給食をどうするか、学校から問い合わせがありました。

親は、どのように対応するとよいですか。 (**重要**)

A 学校に行く、行かないに関わらず、給食を頼んでおく。

B 「給食を頼んでおいたよ」と、子どもに伝えておく。

C 「学校に行くなら給食を頼んでおくけど、どうする？」と、子どもに尋ねる。

\*このような場合も、「無条件の対応」が大切です。



**事例3** 朝になって、子どもが、「学校に行かない」と言い始めました。

親は、どのような言葉かけをするとよいですか。 (**重要**)

A 「行きたくないなら、休んでもいいよ」と、話す。

B 「行きたくないと思うくらい、気持ちがしんどいんだね」と、返す。

C 「それじゃあ、欠席すると学校に連絡しておくね」と、伝える。

\*子どもが「前に進んでみよう」と思えるようになるのは、どれですか？

**事例 4** 子どもに「インターネットを夜 1 時まで使えるように延長してくれたら学校に行く」と、言われました。親は、どう対応するとよいですか。(重要)

- A 「健康のことが心配なので、9~10 時には終わるようにしてほしい」と話す。
- B 「夜 1 時は遅いので、11 時くらいまでの延長ならいい」と話す。
- C 夜 1 時まで、延長する。

\*子どもが、条件をつけて(～たら)、親に延長を求めています。



**事例 5** 新学期のある日、子どもが登校しました。(実際に、こういうことはよくあります) 子どもが学校から帰ってきた時、親は、どのように対応するとよいですか。(重要)

- A 帰ってきたら、学校での様子をいろいろ聞いてみる。
- B 「今日は、お疲れ」と、一言、ねぎらう。
- C 「学校に行けたのね」と、笑顔でほめる。

\*「学校に行けたのね」は、一見、適切な対応のように思えますが、・・・

**事例 6** 給食が始まるまでは弁当が必要なので、毎日、弁当を作りました。しかし、ある朝、子どもが「学校に行くのが億劫だな」と言い始めました。親は、どのように対応するとよいですか。(重要)

- A 「あー、あなたは、そう思うんだね」と、返す。
- B 「せっかく弁当をつくったのに、・・・」と、言う。
- C 「せっかく弁当を作ったんだから、学校に行ってください」と、言う。



\*子どもは、母親のその一言で、その日、学校に登校しました。

#### ◆この3~4月、特に大切にしたい、親の関わり方は、・・・?

上で挙げた6つの事例に共通して、大切にしたい親の関わり方があります。

それは、・・・

- ① 学校に登校することや、登校しないことで、「条件つき対応」をしないこと、
- ② 「あなたのことが一番大事です」という気持ちで、子どもと向かい合うこと・・・です。

新しい学生服を買ってもらった中学生 A くんのように、そのような親の関わり方が、子どもの心を学校へと繋いでいきます。

ご質問等あればお応えしますので、以下のアドレスにお知らせください。(料金不要)

→→→ [counseling.clover@gmail.com](mailto:counseling.clover@gmail.com)